

第4章 教育の情報化

第1節 基盤整備

県立学校、図書館、美術館及び博物館等の教育関係機関が専用イントラネット及び電子メール等のインターネットサービスを利用できるよう、平成11年度から「うつくしま教育ネットワーク」、平成28年度から「ふくしま教育クラウドサービス」を運用し利便性の維持・向上を図っている。

平成30年度は、これまで県教育センターで運用してきたうつくしま教育ネットワークのシステム基盤を民間事業者のデータセンターを活用して運用する方針とし、新たに県立教育機関向けのネットワーク「FACE (Fukushima Advanced Cloud network for Education)」として再編、11月から運用を開始した。

また、Webシステムについては、情報発信の強化と作業の効率化を図るため、福島県のWebシステム及びNetCommons3を活用したCMS(コンテンツ・マネジメント・システム)により運用し、県立学校を含む教育庁機関及び希望する市町村教育機関のWebサイトによる情報公開を支援した。

うつくしま教育ネットワークの主なサービス

(市町村立学校については、平成30年10月31日まで)

- ・公立学校に対するインターネット接続環境の提供
- ・不適切情報のフィルタリング

児童・生徒に触れさせたくない情報をネットワーク拠点で一元的に管理し、教育にふさわしい情報の提供を行う。

- ・セキュリティやウィルス等への対策
- ・セキュアなファイルストレージの提供

ふくしま教育クラウドサービスの主なサービス

- ・ホームページの利用環境

学校や教育関係機関等がウェブサイトを設置できるスペースを提供し、取組や研究成果などを広く共有する場を提供する。

- ・電子メールサービス

電子メールアカウントを、教職員、学校、教育関係機関等に発行する。

- ・グループウェア環境(メーリングリスト、掲示板(グループ)機能、施設予約、ファイルストレージ等)

県立学校の教職員が校務に使用するパソコンについては、平成21年度までに、県立学校に対して教員1人1台に相当するパソコンの配備を行ったが、平成30年度はWindows7のサポート期限到来に備え、1,767台の更新・配備を行った。

過去10年間の県立学校校務用パソコンの整備状況

年度	教職員PC配備実績
H21	2,049台
H22	0台
H23	316台 ※1

年度	教職員PC配備実績
H24	1,395台 ※2
H25	814台 ※2
H26	0台
H27	0台
H28	228台 ※3
H29	2,517台 ※4
H30	1,767台 ※4

※1 東日本大震災に伴うサテライト拠点校等への緊急配備

※2 WindowsXPのサポート終了に伴う更新等

※3 Windows Vistaサポート終了に伴う更新等

※4 Windows 7サポート終了に伴う更新

学校の基盤整備状況(小・中・高・特別支援学校)

項目	福島県	全国平均
教育用PC1台当たりの児童生徒数	4.7人	5.4人
校務用PCの整備率	120.7%	120.6%
普通教室のLAN整備率	81.4%	89.6%
普通教室の大型提示装置整備率	29.2%	51.2%
超高速インターネット接続率	73.6%	69.1%
統合型校務支援システムの整備率	9.9%	57.2%

文部科学省調べ(平成30年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果(H31.3現在)(速報値))

第2節 人材の育成・活用

すべての教員がコンピュータを操作でき、コンピュータを用いて指導できることを目指して、研修の充実を図っている。

人材の育成状況

項目	福島県	全国平均
教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力	81.5%	86.2%
授業にICTを活用して指導する能力	61.7%	69.7%
児童・生徒のICT活用を指導する能力	65.7%	70.2%
情報活用の基礎となる知識や態度について指導する能力	76.6%	80.5%

文部科学省調べ(平成30年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果(H31.3現在)(速報値))

